

# 環境報告書 (2007年度)

13

## 環境会計情報

Environmental Account



### ■ 公害防止コスト

環境保全コスト	投資額：25.2億円 費用額：36.6億円
主な取組の内容及びその効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排出水の適正処理・管理</li> <li>● 騒音・振動対策</li> <li>● PCB適正保管</li> <li>● オゾン層破壊物質の削減</li> <li>● PRTR法への対応</li> <li>● PCB廃棄物処理</li> </ul>

### ■ 地球環境保全コスト

環境保全コスト	投資額：243.5億円 費用額：0.3億円
主な取組の内容及びその効果	省エネルギー車両の導入比率 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新幹線95.5%</li> <li>● 在来線電車54.3%</li> <li>● 気動車85.3%</li> </ul>
環境保全対策に伴う経済効果	69.4億円

### ■ 資源循環コスト

環境保全コスト	投資額：0.4億円 費用額：24.5億円
主な取組の内容及びその効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅・列車ごみのリサイクル：リサイクル率34.4%</li> <li>● 鉄道資材発生品のリサイクル：リサイクル率90.4%</li> </ul>
環境保全対策に伴う経済効果	8.5億円

### ■ 管理活動コスト

環境保全コスト	費用額：1.0億円
主な取組の内容及びその効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISO14001認証維持活動：4箇所</li> <li>● 環境管理システムの水平展開：202箇所</li> <li>● 社員研修：ISO14001内部環境監査員養成72名等</li> </ul>

### ■ 研究開発コスト

環境保全コスト	費用額：4.4億円
主な取組の内容及びその効果	環境問題にかかわる研究開発

### ■ 社会活動コスト

環境保全コスト	費用額：0.1億円
主な取組の内容及びその効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境報告書2006の制作</li> <li>● 環境パンフレット「地球にやさしい電車たち」の制作</li> <li>● 産業廃棄物不法投棄原状回復基金</li> </ul>

## ■ 環境補償対応コスト

環境保全コスト	費用額：8.2億円
主な取組の内容及びその効果	福知山運転所跡地土壌汚染対策工事等

### 【集計の考え方】

- 集計範囲はJR西日本単体
- 集計期間は2006年度（2006年4月から2007年3月）
- 分類項目等は「環境会計ガイドライン(2002年版)」（環境省）を参考

### 【環境保全コスト】

- 環境保全コストは現在の管理システムから把握できるものを集計
- 費用額には原価償却を含まない。

### 【環境保全効果】

- 環境目標に定めた項目を中心に数値集計

### 【環境保全対策に伴う経済効果】

- 地球環境保全活動においては、省エネルギー型車両や高効率型機器の導入に伴う電力・燃料費等の削減額を算出（一部推計）
- 資源循環活動においては、事業活動により発生する廃棄物のうち、売却可能な有価物の売却額を計上